

第8回 石田縞アイデア 小物コンテスト 作品集

石田縞





福井県指定
郷土工芸品



主催 ■ 鯖江市繊維協会

後援 ■ 鯖江市、鯖江商工会議所、鯖江観光協会、

福井新聞社、 FBC、 福井テレビ、この都ネットワーク

幻の石田縞

江戸時代から織られた石田縞
福井の女学生に愛された木綿織り

汗を吸い、丈夫で保温にも適している木綿を使い、縦横に筋を入れた縞織物は、南蛮貿易で注目され「唐縞」などと呼ばれ江戸時代では最新の織物でした。

鯖江の下石田に住む、高島善左衛門は貧しい村人を救うために文政年間に美濃で縞織物を習い、織工を招いて工場を建てました。これが人気を博し、副業として近在に広がりました。これが石田縞の始まりです。

石田縞は経糸に細い唐糸を2本撚り合わせた双子糸を使い、緯糸に単糸の唐糸を使用したので双子木綿とも言われています。衣服、野良着、布団地などに使用されていました。明治33年(1900)には生産高33万反にまで達するほど織られました。

明治39年に福井女子師範学校女子部が石田縞の袴を制服に採用したのを皮切りに、福井県下の女学校や小学校の制服に指定されていきます。

大正時代に動力で動く力織機によってさまざまな布が大量に織られ、学校制服がセーラー服へと変わったように、洋装が普段着に使われるようになると石田縞は急速に衰退していきます。

今では幻の織物と呼ばれていますが、数人の作家によって復元し、繊維協会手織りセンターでは現代の好みに合わせた色やデザインで実際に織る体験が出来るようになりました。

石田縞アイデア小物コンテスト

草木で染めた糸を手織りした石田縞。江戸時代から織られ、たくさんの人から愛されたこの石田縞の美しさと魅力を、今の時代にふさわしい形で、身近な小物で、新しいアイデアで発信したい。繊維協会ではそのアイデアを広く皆様に募集するため、アイデア小物コンテストを開催いたしました。今年は38点の応募がありました。

- 内 容 「石田縞を使った商品にあつたらいいな。」と思うアイデア小物を募集するコンテスト
- 対 象 高校生以上
- 参加要件
 - ・石田縞をメインにアイデア小物を製作ください。
 - ・参加者が自ら製作し、未発表のものに限りします。
 - ・石田縞以外の用品は参加者の方で負担してください。
 - ・出品されたアイデア小物は返却しますが、小物の製造著作権は繊維協会のものとします。
- 作品展示 12月6日(金)～12月8日(日)
鯖江市まなべの館
- 副 賞 最優秀賞(賞金3万円) 1本
優秀賞(賞金5千円) 10本以内

■審査員

仁愛女子短期大学生活科学学科准教授	前田 博子
一般社団法人鯖江観光協会部長	小西 信一
鯖江市産業環境部商工観光課長	酒井 智行
石田縞保存会	久嶋 英子
石田縞保存会	吉村 和枝
協同組合鯖江市繊維協会副理事長	熊野 高士

石田縞アイデア小物コンテスト審査員長講評

第8回石田縞アイデア小物コンテストには35名38点のご応募をいただきました。

今回応募いただいたものは「家の外で身につけるもの」と「家の中で飾るもの」に大きく分けられます。例年より日傘の応募が多かったことが印象的です。ただ、石田縞は天然染料にて染色しています。この天然染料は耐光堅牢度が低く、日光にあたると色褪せてしまうという特徴を持っています。昔ながらの作り方が現代の気候に対応できません。これは繊維協会の課題として今後考え続けていかねばなりません。

高度経済成長にともない、家庭内の女性たちは家の中での装飾品を多く作ってきました。暮らしの中の手芸は家庭内の人工的な家電や家具を装飾するもの、包むものへと変わっていきます。手芸がもたらした家庭内のものづくりを概観できる作品群は女性たちのこれまで人生や社会変動を表しているように感じました。大量生産が進む一方で手作りの良さも見直されている今日、石田縞と手芸とのこれからのあり方をみなさまとともに考えていきたいと思います。

審査員長 仁愛女子短期大学生活科学学科准教授 前田 博子



最優秀賞

日傘

野尻 明美

石田縞は落ち着いた色、柄なのでワンポイントにヨーヨーキルトを作って付けておしゃれ感を出しました。年々厚くなる夏、外出時に使用したいと思います。



優秀賞

鯖江西山公園

村岡 成子



優秀賞

PCモニターカバー

澤田 薫



(飾物)グリーン色の芝と石田縞の布を重点に考えました。体や顔の向きに変化をもたらし、それぞれが楽しんでいるように!!

毎日仕事でPCを使用、なくてはならない存在!!助けてもらってありがとう。草木染の石田縞、暖かさとはんとした風合いの布。リボンと布の織は緊張、柔らかな曲線は癒しを表し、仕事始めの気合、仕事終わりのお疲れさま、私の思いをPCカバーに載せてみました。

優秀賞

網代模様のトートバッグ
山本 壽美子



(石田縞にて網代模様を表現し、使いやすい大きさのトートバッグを作りました。網代模様は邪気を通さないとされ魔除けの意味合いがあるとの事でお守り代わりに大切に使用したいと思います。

優秀賞

帯締め
加藤 千枝



ひもの中に芯を入れるのに時間がかかりました。ビースをどこにしようかと考えました。下の帯に締めようと思います。(絵は手書きです)

優秀賞

bottle cover
手賀 和美



空瓶に保存食を入れてお洒落に使いやすく、棚に並べても日光による劣化を防げる。台所仕事が楽しくなります。

優秀賞

ランチクロス巾着
武田 カナエ



お弁当タイムをちょっぴり楽しくしようと考え、広げたらランチクロス、きゅっと絞ったらランチ巾着、一つ二役のランチグッズを製作しました。ランチクロスの上にお弁当箱を置いてひもを引っ張って結ぶだけで巾着になります。

優秀賞

キャンディハウス
西村 喜恵子



石田縞の何とも言えないなつかしさを感じて、その風合いを身近な生活小物で楽しみたいとの思いで造りました。

優秀賞

メッシュワークのマット
小林 かず子



限られた生地を色使い、組み方で石田縞がより引き立つ工夫をしました。

優秀賞

肩かけポシェット、ブローチ
内藤 ヒロ子



八角形のパターンを使いたくて、それを利用して日常使う肩かけポシェットを作りました。早く使いたいです。端切れ利用してブローチを作りました。

優秀賞

エコバッグと小銭入れ
前田 聖子



小銭を区別して入れる事が出来るので便利です。

応募作品



文庫本カバー
津田あさち



亀
若泉久尾



おでかけヘルメット
&かぎポーチ
中村和佳代



がま口ポーチ
武藤博子



クリスマスリース
天谷知恵子



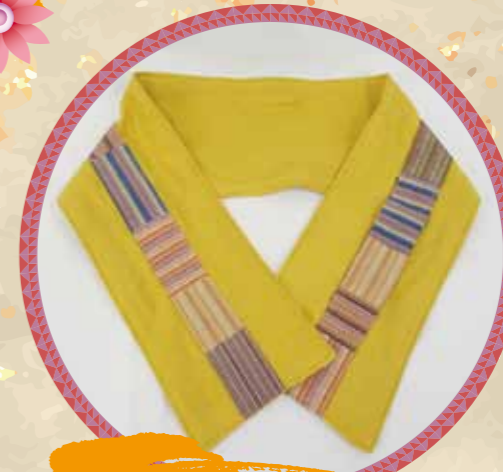
セカンドポーチ2種
木下邦子



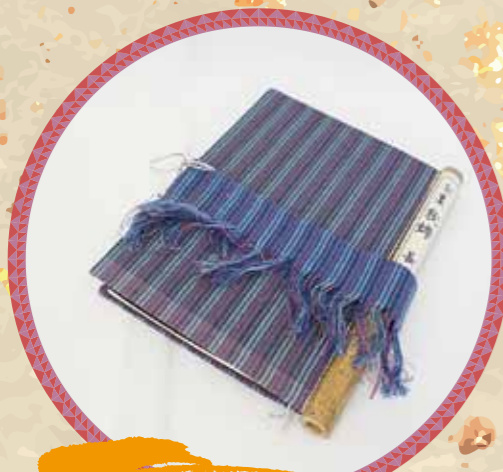
バックカバー
&どこでもブローチ
長澤孝子



幸せ袋
吉田紀美枝



ちょこっとマフラー
武田真衣



帯付き句集バインダー
長澤澄雄



石田縞でおめかし
南雲康子



和風エコバッグ
田中恵子



キャンディティッシュケース
高森梨恵



ブックカバー
野尻明美

応募作品



猫型ティッシュケース
鷺田 晴美



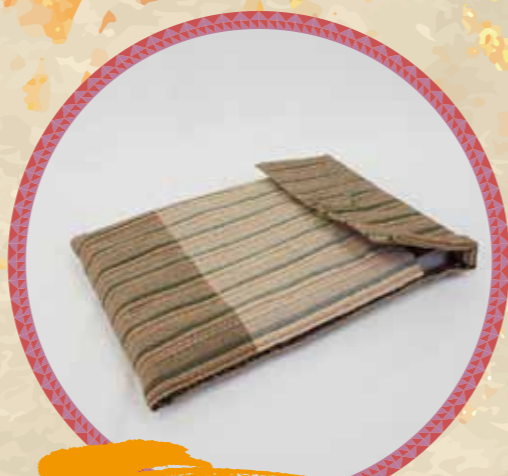
防災ズキン
高橋 みち代



扇子入れ
坂井 悦子



スマホホルダー
鈴木 照子



御朱印入れ
坂井 悦子



アロエ香猪口
(1ヶ縞両面利用)待ち針で交換
坂井 悦子



エプロン
桑原 節子



うさリーナ、くまりーナ
泉 由美



石田縞の布を使って
オリジナル日傘
左近ともみ



日傘
高原 留美



石田縞日傘
塔尾 富美子



お経本聖典入れ袋
林 公枝



日傘
佐野 美由紀

石田縞保存会
会員作品集



久嶋 英子



吉村 和枝



牧野 京美



榎本 富枝



伊藤 順子



坂井 悦子



堀 みどり



原 節子



渡辺 洋子



西川 智恵子



伊藤順子



原 節子

石田縞保存会
作品集